

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和元年 10 月 17 日（木）18 時 30 分～20 時 07 分

場 所：カルチャープラザ「Eki」

出席者：28 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※配布資料確認および日程説明
3. 今年度のまちの動き（資料①）
質疑
4. これからのまちづくり（資料②）
5. 懇談
6. その他
(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）
※質疑応答
7. 閉会

《質疑応答》

【シェアサイクル事業について】

町民：

シェアサイクル事業の利用者はどのくらいか。

ブランド推進課長：

栗山公園の利用者が年間約 10 万人いるので、100 人ほどの利用者を想定していたが実際の利用者は 14 人だった。内 12 人が町外、2 人が町内の方だった。

【栗山赤十字病院について】

町民：

先日の新聞記事で見たが、日赤病院、由仁町の診療所、南幌町の病院が今後統合される対象に含まれていた。長沼町の病院が対象になっていなかったが、日赤病院や由仁町の診療所などは長沼町の病院に統合されるのか。現在の日赤病院の経営状況はどのようなものか。町民としては存続してほしいが、町はどのように考えているのか聞かせてほしい。

福祉総括：

新聞報道については、日赤病院をはじめ多くの公立病院・自治体が戸惑っている。北海道地域医療構想として、現在は南空知全体で 2189 床ある病床数を 2025 年には 1925 床に減らす方向が示されている。南空知だけでなく、どこの病院も経営が非常に厳しい。公立病院を抱えている自治体の 60%は赤字経営。日赤病院の場合は、累積赤字が 30 億円を超えているが、本町からの補助を受け、単年度においては黒字の年も出てきている。広域化については、近隣 4 町にこだわらず、夕張市も含めた枠組みも検討となる可能性もある。

町長：

私も含めて、1市4町の代表を集めてこの問題を話し合ったことはない。それぞれの病院は、それぞれの市町で管理するのが共通の考え。日赤病院は町外からも診察に来るなど、既に総合病院としての役割を果たしているが、早急に建て替えを検討しなければならない。財政的に最も良い案は、1市4町で総合病院を建てること。町民からは総合病院ができるなら町外でも良いという意見や、小さくても町内に病院がある方が良いという意見が出ている。

【北海道介護福祉学校・町の教育について】

町民：

介護福祉学校には良い先生がいるので、生涯学習の観点から、町民向けに講座などを開いてほしい。また、総合福祉センターに教科書が展示しているが、教科書だけでなく町広報も過去10年分ほど図書館でまとめて、展示してほしい。

教育長：

介護福祉学校の今後の在り方について、経営改善会議を定期的に行き、町民にどのような形で還元できるか考えている。介護についての講座は、主に在宅介護をされている方などを対象に検討している。生涯学習の一環として、専門知識のある高校や小中学校の先生から指導を受けられぬか考えているが、ご厚意で講義してもらえぬ環境を作る必要がある。

また、教科書は3年ごとに改訂をすることになっていて、総合福祉センターには過去と現在の、全てのメーカーの教科書を10年分ほど保管している。量が多いので、図書館の所蔵状況も厳しい中、どのように保管していくのか検討したい。

町民：

保管用の書庫はないのか。

教育長：

各課がそれぞれの書類を保管している書庫はあるが、一括で保管する書庫はない。

町民：

介護福祉学校の費用のうちほとんどは人件費と聞いたが、教職員にかかる費用のことか。人員をどのように削減していくのか。学生確保のために学校は積極的に動いているのか。学校の努力だけでは学生確保は難しいので、町内や空知管内の大勢の方が一体となり、介護士確保のために学生募集を行っているのか。介護福祉学校のことについて、他の市町村と話し合いの場は設けたのか。

教育長：

学生募集の取り組みには、教員だけでなく事務職員も参加している。去年は北海道胆振東部地震の影響で、多くの場所を回ることができなかった。民間の募集機関にも登録させてもらい、幅広く募集をかけてもらったほか、説明会にも参加させていただいた。職員も高齢化していくので代替りの職員は入れなければならないが、実務経験が3年以上あることなど、条件がある。令和

4年度以降、学生数に応じて職員配置を考え、教職員の負担過重にならないようにする。

町長：

介護福祉学校は町の学校だが、卒業後は町外に就職してしまう。学校をこれからも残していくためには、道にリーダーシップをとってもらいたい。北海道全体の介護福祉人材の確保のため、介護福祉学校は必要。近隣の市町村では、今のところ介護福祉士が不足しておらず、介護福祉学校の問題は栗山町だけの問題と認識されている。

【栗山高等学校について】

町民：

栗山高校の今年の入学者が33人と少ない。栗山高校よりも長沼高校の入学者数が多いのは、長沼に学校給食があることが理由の一つらしい。先日、栗山高校の教頭と話したが、栗山町でも学校給食を始めるのかという問い合わせが長沼高校からあったらしい。家政科があった時の調理器具がまだ残っているはずなので、学校給食を始めるのは可能だと思う。

教育長：

学校給食については2年前にも同様の意見を聞いた。学生から強い要望があったわけではないが、弁当を作る負担が大きいため、保護者からは要望が多い。しかし、学校給食法により衛生管理などの基準が厳しい。栗山高校は公立高校なので学校給食を行うという前提がなく、専門の入り口、保管庫、専用エレベーターなどを設置する必要がある。今後、学生や保護者から特に強い意向があった場合、可能性について検討したい。

町民：

秋まつりの共同募金に参加したが、その中に栗山高校の生徒が2人いて、学校給食があったほうが良いと言っていた。弁当を持ってこない人もいて、その3分の2はコンビニエンスストアにパンを買いに行き、3分の1は何も食べないらしい。成長期に昼食を食べないのは体に悪い。

教育長：

子どもたちの動向をもう一度つかむ必要がある。栗山高校とも相談していきたい。